

第 22 回学会発表奨励賞選考結果

日本コミュニケーション障害学会では、学術講演会で発表された演題の中から今後の発展性が期待できる優れた演題を選考し、学会発表奨励賞を授与しております。第 45 回学術講演会で発表された演題の中から、厳正なる審査の結果以下の 2 件が第 22 回学会発表奨励賞に選考されました（敬称略，所属は発表時のもの）。受賞者には、来年の第 46 回学術講演会において学会より 5 万円の研究奨励金が贈呈されます。

相川真澄（上智大学大学院言語科学研究科）、原恵子（上智大学言語聴覚研究センター）、長南浩人（筑波技術大学障害者高等教育研究センター）、田嶋圭一（法政大学文学部）

聴覚障害者の日本語単語アクセントの知覚におけるピッチレンジと発話持続時間の影響

畑添涼（熊本保健科学大学保健科学部・医療法人堀尾会熊本託麻台リハビリテーション病院）、小菌真知子（熊本保健科学大学保健科学部）、池寄寛人（同）、水本豪（同）、村尾真由子（医療法人堀尾会 熊本託麻台リハビリテーション病院）

重度失語症者の検査上での活動と生活場面での活動の差についての検討～CADL と FQ の比較を通して～